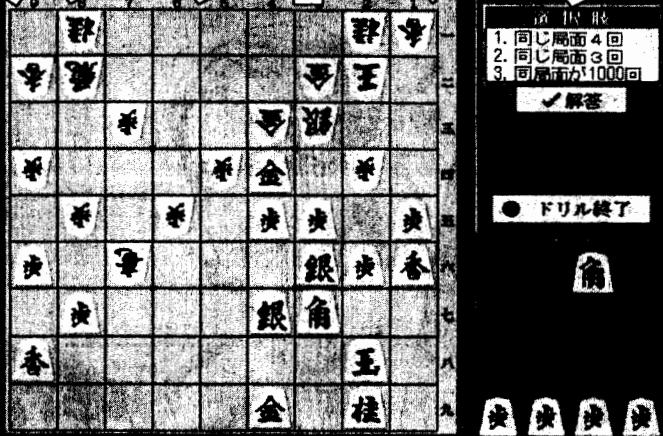
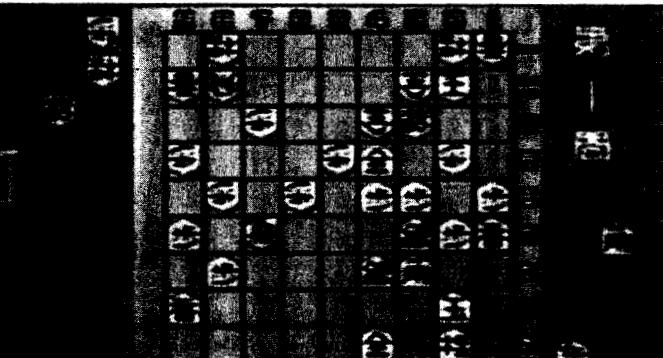


将棋ソフト「パクリだ訴えられる」



次のうち、千日手となるのはどれでしょう。



武将野6段駒の配置図 棋譜は棋士の命



謎のピアノマン
力ナダから?
英南東部シナクスの海岸
で保護された身元不明の
「ピアノマン」について
19日までに計約50件以上
の情報が寄せられ、うち司
法担当者が調査している。
米長氏を訴えた武者野氏
中矢は依然とした表情で
訴状提出後に会見に臨んだ

そんな中、19日の英紙テ
レ1・3局の話は「ナタ
ドリップ」の話として、昨
年トロントから姿を消した
「フィリップ・スチーフ
エン氏」の可能性があると
伝えた。同氏は99年、大け
がを経てトロント市に上
院に連ばれた際、記憶喪失

の外壁

扇

訴えられる

日本棋院専務理事で、都教育委員会の米長邦雄永世棋聖(61)が19日、将棋ゲームのソフトを盗作したとして著作権侵害で訴えられた。訴えを起こしたのは同じくプロ棋士でソフト会社「棋界」ステーション用将棋ソフト社長の武者野勝巳の段(51)。この日、「みんなの将棋」が、00年東京地裁に訴状提出後、会見した武者野氏は「まるっきりのパクリ。社会的地位ある方などに信じられない。泣き寝入る棋ソフト「米長邦雄の将棋セミナー21」に酷似している」と話した。

訴状によると、米長氏が02年3月に発売したプレイステーション用将棋ソフト「みんなの将棋」が、00年3月に武者野氏の企画で発売された「みんなの将棋」(セミナー21)と酷似している。武者野氏は著作権侵害に当たるとし、米長氏とソフト販売会社「サクセス」などを相手に版権差止めで4~6万円の賠償を求めていた。

監修契約1年

米長氏は「セミナー21」の監修を務め、パッケージに顔写真を出し、本編でも声を含めて登場している。しかし、武者野氏によるところでは、武者野氏によると、米長さんは「原案を読み替えて、少しだけ訂正を入れてもらつただけで、アイデ

アは全部私です」という。監修契約は1年で、販売開始から1年経過したとき米長から「制作と販売をしてほしい。在庫も確保してほしい」と要請された。「セミナー21」は初回編・中級編、上級編の3種が発売され、計約3000本を製造。03年4月に販売差止めで4~6万円の賠償を求めていた。武者野氏が「みんなの将棋」が発売された。知人から情報を得た武者野氏が購入すると、初级、中级、上級の構成以外にも内容がほとんど同じだったといふ。武者野氏は「胸の配置が同じで、図面(駒の配置)が完全に違っているわけがない。全くのパクリ。棋譜は棋士の命。それを簡単に盗用するとは許せない」と憤慨している。

訴えに対して、米長氏は「(セミナー21)の著作権は米長邦雄に帰属する」と認め、契約書の第3条に明記している」と本ホームページ上で反論している。今回のトラブルについて日本将棋連盟関係者は「ある理事は『武者野さんの方が正直しているのか』と首をかしげていていた」と話す。これまでの公式戦で米長氏と武者野氏が1勝1敗で五分。決着は法廷になってしまった。

19日、小泉進次郎議員が設置の衆院議員会議室で、野田義信議員と協議して、野田議員が対応する。左側の議員は「おお、あなたが野田議員ですか」と驚いていた。

19日、小泉進次郎議員が設置の衆院議員会議室で、野田義信議員と協議して、野田議員が対応する。左側の議員は「おお、あなたが野田議員ですか」と驚いていた。